

頭取からのメッセージ

経営の基本方針

私ども福岡銀行グループは、5つの基本理念“5C”Valuesにより、質の高い金融サービスの提供を通して、企業価値の持続的な成長を実現してまいります。

また、地域の金融機関としての顧客指向、地域貢献はもとより、地方銀行の枠組みにとらわれない優良行を目指して、成長の方向性やそのスピードといった質・量の両面にわたる発展を実現し、企業としての魅力をさらに高めてまいります。



頭取 谷 正明

経営理念

福岡銀行は、5つの基本理念により、役職員相互間の人間性を尊重し、質の高い金融サービスの提供を通して、地域とともに発展し、企業価値の持続的な成長を実現する。

福岡銀行の 基本理念 （“5C”Values）

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| 『顧客』(Customers) | 顧客を最優先する組織・人材 |
| 『信頼』(Credibility) | 顧客、社会から長期にわたる信頼を築きあげる組織・人材 |
| 『貢献』(Contribution) | 顧客や地域に貢献する組織・人材 |
| 『挑戦』(Challenge) | 前向きなチャレンジ意欲あふれる組織・人材 |
| 『変革』(Change) | たゆまず進化する組織・人材 |

経営環境

平成17年度のわが国経済は、原油価格の高騰や米国・中国経済の減速懸念はあるものの、世界経済の持続的な拡大と好調な輸出に支えられ、回復基調を鮮明に示しはじめました。企業業績の改善に伴い設備投資は増加し、雇用情勢の改善等により個人消費も緩やかに増加しております。企業部門の好調さが家計部門に波及しており、今後も国内民間需要に支えられた景気回復が続くと見込まれております。

金融面では、主要行の不良債権問題が一段落するなか、短期金利は日本銀行の潤沢な資金供給が続いたため概ね低位安定となりましたが、長期金利は量的緩和政策の解除を背景に上昇傾向となりました。株価は企業業績の回復を背景に、日経平均株価が期末に1万7千円台になる等、期を通して大きく上昇いたしました。外国為替は、米国の金利引き上げ政策の継続等により円安傾向で推移いたしました。

金融界では、昨年3月に金融庁から公表された「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム」に基づき各地域金融機関が「地域密着型金融推進計画」を策定し、その施策に積極的に取り組んでおります。

『中期経営計画2006』～期待を超える銀行に～

ふくぎんは、平成18年4月から期間3年間(平成18年4月～平成21年3月)の中期経営計画をスタートさせました。

前中期経営計画『新世紀プラン』は、デフレ経済・金融再生途上の環境の中で、営業拡大と効率性・リスクコントロールのバランスをとった成長戦略でありました。

新中期経営計画では、経営環境の変化を踏まえ、サービス品質の向上とリスクテイクにより積極営業展開を図り、ステークホルダーの期待を超える銀行を目指してまいります。新中期経営計画は目指す銀行像の実現に向けたアクションプログラムと位置づけ『中期経営計画2006～期待を超える銀行に～』とネーミングいたしました。



地域とともに

ふくぎんは、お客さまが安心してお取引いただけるよう、今後も収益力・財務体質の一層の強化やさらなる経営の効率化に努め、“地域の皆さまに良質な金融サービスを提供し、地域社会の発展に貢献する”という地域金融機関の使命を果たすとともに、企業価値の向上に向けて役職員一同、努力してまいります。



コンプライアンス(法令等遵守)経営の実践

当行は、コンプライアンスを経営の最重要課題と位置付けております。お客さまからより多くの信頼・支持を得るため、今後ともコンプライアンスの充実に努めてまいります。